

保護者の皆様

札幌市立前田北小学校
校長 山崎 洋人


『全国学力・学習状況調査の結果』概要のお知らせ

今年の4月17日に小学校第6学年と中学校第3学年の児童生徒を対象に全国一斉「全国学力・学習状況調査」が実施され、2学期に入り文部科学省・札幌市より調査結果が公表されました。つきましては、本校の調査結果の概要についてお知らせいたします。

なお、諸調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご承知おきください。

<本校の概要>

【国語】

| | 主として「知識」に関する問題 (A) | 主として「活用」に関する問題 (B) |
|-------|---|---|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと 聞くこと」は全国平均とほぼ同程度ですが、やや上回っています。 「書くこと」「読むこと」は全国平均に比べ下回っています。 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均とほぼ同程度ですが、やや下回っています。 | <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと 聞くこと」「書くこと」「読むこと」は全国平均に比べ下回っています。  |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えること。 登場人物の心情について、情景描写を基に捉えること。 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと。 | <ul style="list-style-type: none"> 話合いの参加者として質問の意図を捉えること。 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと。 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。 |
| 改善の方向 | <ul style="list-style-type: none"> 「話す力 聞く力」を付けるために、目的や意図に応じて適切に話したり、取材した情報を分類、整理して関係付けて話したり、聞いたりする指導の充実を図ります。 「書く力」を付けるために、取材の内容や方法を考えながら、目的や意図に応じて必要な情報かを判断して、整理しながら文章を書く指導の充実を図ります。国語科ばかりでなく、日記を書く、授業の振り返りをまとめるなどの日常の書く活動の充実を図ります。 「読む力」を付けるために、行動や会話など複数の叙述を基にして登場人物の特徴や性格を多面的に捉える指導の充実を図ります。また、朝読書の取組をさらに大事にしていきます。 | |

【算数】…裏面に続きます

| | 主として「知識」に関する問題 (A) | 主として「活用」に関する問題 (B) |
|----|--|---|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 「数と計算」は全国平均に比べ下回っています。 「量と測定」は全国平均とほぼ同程度ですが、やや上回っています。 「図形」は全国平均に比べ上回っています。 「数量関係」は全国平均とほぼ同程度ですが、やや下回っています。 | <ul style="list-style-type: none"> 「数と計算」「量と測定」「数量関係」は全国平均に比べ下回っています。 「図形」は全国平均とほぼ同程度ですが、やや下回っています。 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 小数の除法の意味について理解していること。 180° や 360° を基に分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めること。 百分率を求めること。 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること。 | <ul style="list-style-type: none"> メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、記述できること。 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できること。 示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができること。 |

【算数】 続き

| | |
|--------------|--|
| 改善の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・「数と計算」の理解を深めるために、問題場面を図や数直線等を用いて、数量の関係を的確に捉えて演算決定し、立式できるようにする指導の更なる工夫を図ります。 ・「図形」の理解を深めるために、日常生活の事象を図形の構成要素や性質を基に観察し、図形を判断したり、事柄が成り立つことを論理的に考察し、数学的に表現したりすることができるようにする指導の充実を図ります。 ・「量と測定」の理解を深めるために、見当を付けること、測定すること、測定の結果を振り返って確かめることの各活動を関連付けて、角の大きさを正しく測定することができるようにする指導の充実を図ります。 ・「数量関係」の理解を深めるために、日常生活の事象を、グラフの特徴を基に複数の視点で考察したり表現したりすることができるようにする指導の充実を図ります。 |
|--------------|--|

【理科】

| | |
|--------------|---|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・「エネルギー」「生命」「地球」は全国平均に比べ下回っています。 ・「物質」は全国平均とほぼ同程度ですが、やや下回っています。 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解していること。 ・より妥当な考えをつくり出すために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できること。 ・実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できること。 ・実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できること。 |
| 改善の方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・「物質」「エネルギー」の理解を深めるために、実験結果を基に分析し、問題に正対したために改善できるようにする指導の充実を図ります。 ・「物質」「エネルギー」の理解を深めるために、実験結果の見通しを伴った解決の方向性を構想できるようにする指導の充実を図ります。 ・「生命」「地球」の理解を深めるために、学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活に適用できるようにする指導の充実を図ります。 ・「地球」「地球」の理解を深めるために、複数の情報を関係付けながら多面的に分析して考察できるようにする指導の充実を図ります。 |

< 6年生の質問紙調査より >

※ 子どもたちの生活や学習、地域に対する思いなどの質問に答えたものです。全国平均と比較して顕著な内容をお知らせします。

- 将来の夢や目標を持っている子が多い。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている子が多い。
- 家で、学校の宿題をする子の割合が多い。
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いている子の割合が多い。
- 家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している子の割合が多い。
- 家の人と学校での出来事について話をしている子の割合が多い。
- 住んでいる地域の行事に参加している子の割合が多い。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子の割合が多い。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている子が多い。
- 家で、毎日同じくらいの時刻に寝たり、起きたりしている子の割合が少ない。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている子の割合が少ない。
- 家で、学校の授業の復習や予習をしている子の割合が少ない。
- 学校の授業時間以外の勉強時間が1時間に満たない子の割合が多い。
- 学校の授業時間以外の読書について、「全く読まない」「10分に満たない」子の割合が多い。
- 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思っている子の割合が少ない。
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるという子の割合が少ない。
- 新聞を読んでいる子は少ない。

